

第6学年 北方領土問題に関する学習（小学生向け学習資料活用例）

- 1 ねらい 現在、日本が抱える北方領土問題の現状や返還に向けた取組の大切さを理解し、今後の北方領土問題について考える。
- 2 展開（2時間）

〈平成23～26年度使用社会科教科書〉
 東京書籍6年（上）p148～149
 「これからの日本を考えよう」
 教育出版6年（上）p140～p141
 「アジアの中の日本を見つめて」

学 習 内 容	教師の支援	学習資料 「知っていますか？北方領土」 —小学生向け学習資料—
<p>(1) 北方領土についてクイズを解き、北方領土問題の概要を確認する。</p> <p>(2) 資料を使って北方領土が占領されたときの様子を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつ占領されたのか。 ・ 占領された時の様子はどうだったのか。 ・ 元の島民の願いは何か。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 北方領土問題について、日本はこれからどうしていけばよいのだろう。 </div> <p>(3) 北方領土返還に向けた我が国の取組を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2012年のプーチン大統領と野田総理大臣との話合いで、日本とロシアとの関係を深め、領土問題を早く解決していくことを確認しているんだね。 ・ 2月7日を「北方領土の日」とし、全国各地で返還を求める運動に取り組んでいるんだね。 <p>(4) 北方領土問題についてこれから日本はどのように取り組んでいけばよいのか考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本とロシアの首脳同士の話合い ・ 返還要求運動をする団体の設立 ・ 北方領土返還を要求する集会の開催 ・ 日本と北方領土に居住しているロシアの人々の相互交流 ・ 元島民による出前講座の開催 など <p>(5) 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元島民の方々が一日でも早く北方領土に帰ることができるように応援したい。 ・ 北方領土問題の解決に向けて、日本とロシアの話合いの場をできるだけ多く積み重ね、粘り強く進めていくことが大切だと思う。 	<p>○パソコンとプロジェクターを用意し、5年生で学んだ北方領土の位置や地形、自然環境について確認する。</p> <p>○資料から戦後ソ連（現ロシア）に占領されたことや、その後日本人が住めない島になったことを簡単に説明する。</p> <p>○現在、日本人は北方領土に自由に行き来できない状況を確認する。</p> <p>○過去・現在の取組について分かる資料をもとに、平和的に友好的に問題を解決していこうとしていることに気付かせたい。</p> <p>○日本政府の主張は、北方領土の帰属の問題を解決して平和条約を締結することであり、北方領土に居住するロシア人を追い出すことではない。そこで、現在の北方領土には多くのロシア人が生活し、島の開発が進んでいるという現況を確認させたうえで、日本とロシア両国が納得のいく解決方法はないか考える視点を与える。そして、友好的に粘り強く返還運動を続けていく必要性に気付かせていきたい。</p>	<p>パワーポイント【北方領土に関するクイズ】</p> <p><u>学習資料6～7ページ</u> 【北方領土はどうして日本の領土といえるの？】 【北方領土に関する国際的な決まりはどうなっているの？】</p> <p><u>学習資料8～11ページ</u> 【日本とロシアの話合いはどうなっているの？】 【北方領土返還要求運動ってどんな運動なの？】 【日本とロシアの相互交流はどうなっているの？】</p> <p><u>学習資料16～19ページ</u> 【富山県における北方領土返還要求運動はどうなっているの？】 【富山県の北方領土との交流はどうなっているの？】</p>